

設立10年を振り返り、更なる飛躍をめざす

— 記念講演会・レセプション開催 —

◆記念講演会

— 福祉の基本理念を学ぶ

千葉県地方自治研究センターが2019年12月19日をもって設立から満10年を迎えることから、2019年11月9日（土）に設立10周年記念講演会並びにレセプションをオークラ千葉ホテルにて開催しました。

記念講演会は、14時30分に佐藤事務局長の司会で開会。冒頭、主催者として挨拶に立った宮崎伸光理事長は、「設立当初、実は10年先の今日まで自治研センターの活動を継続できるとは思っていませんでした。お支えいただいた皆様に感謝申し上げます」とお礼を述べました。来賓として、自治労千葉県本部の横田義之執行委員長、公益財団法人地方自治総合研究所の本田大祐事務局長から祝辞をいただいた後、記念講演へと移りました。

講師は、地方自治総合研究所で長らく研究活動に従事したこともある、地方行財政制度や社会保障制度に精通している奈良女子大学名誉教授の澤井勝先生にお願いしました。『『全世代型の社会保障』と幼児教育の無償化』をテーマに、現政権が打ち出した「幼児教育の無償化」の問題点やノーマライゼーションという福祉政策の基本的な理念をわかりやすくお話ししていただきました（今号の講演録をご覧ください）。

◆記念レセプション

— 長く険しい道のりをたどる

講演会終了後、17時から佐藤事務局長の司会で記念レセプション開会。宮崎理事長の主催者挨拶の後、東京自治研究センターの宮本

知樹副理事長、当センターの会員でもある長浜博之参議院議員から祝辞をいただきました。当センター顧問・前衆議院議員の若井康彦さんの発声で乾杯を行い、会食・歓談へと移りました。

乾杯の後も、宮川伸衆議院議員、奥野総一郎衆議院議員、小西洋之参議院議員、連合千葉議員団会議の天野行雄会長（千葉県議会議員）、社民党千葉県連の水口剛副代表（東金市議会議員）から来賓のご挨拶をいただきました。また、ご挨拶はいただけませんでしたが、多くの各級議員の皆さんに参加いただきましたことに厚くお礼申し上げます。

高橋秀雄副理事長から、スライド上映を行いながら、前史（1986年～2009年）を含めた30年余にわたる、千葉県地方自治研究センターの設立にむけた長く険しい道のりが報告され、参加者の皆さんは興味深く聞き入っていました。最後に、当センター理事の三瓶輝枝千葉市議会議員の閉会の挨拶で、レセプションを18時30分に終了しました。



記念レセプションの様相